

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年1月22日～1月26日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
1月22日	G1南タンクエリアのタンク設置工事の進捗状況確認	G1南タンクエリア	<p>○G1南タンクエリアのタンク設置工事の進捗状況を確認した。 当該エリアには、溶接型タンクが23基設置される計画であるが、確認時は20基が設置されていた。内堰や外堰の設置工事も着手されており、一部では堰の被覆工事も行われていたが、内堰内の床面の被覆はまだ行われておらず、仮堰も未設置であった。 現場で目視確認した限り、特にトラブルが発生している様子は確認されなかった。</p>	10時15分現在
1月23日	T.P.33.5m盤における降雪の影響確認	T.P.33.5m盤(タンクエリア周辺等)	<p>○1月22日に積雪が確認されたことから、構内の積雪による影響の有無を確認するため、タンク群の西側を中心にT.P.33.5m盤を巡視した。 タンクエリアの堰カバー及び移送ホースについては、目視した限り、雪による異常は見られなかった。また、テント式建屋の屋根についても、目視した限り、へこみや破れ等の異常は見られなかった。</p>	10時09分現在
1月24日	2号機原子炉建屋屋上保護層撤去工事の状況確認	2号機原子炉建屋屋上	<p>○2号機原子炉建屋屋上において、保護層等の撤去工事が実施されていることから、工事の進捗状況やダストの飛散防止対策等について確認した。 保護層撤去工事は、笠木の撤去が終了し、一部、有人作業により保護層が撤去された箇所が見られた。屋上には無人作業でルーフロック撤去を行うための遠隔重機や敷砂を回収するための遠隔吸引装置が配備されていた。今後、重機遠隔操作の最終調整やダストの測定確認後に作業を開始することであった。 ダスト飛散防止対策として、散水設備が2対配置されるとともに本県が要請した連続ダストモニタが設置されていることを確認した。</p>	11時40分現在
1月25日	プロセス主建屋及び3号機タービン建屋における津波対策箇所の確認	プロセス主建屋周辺	<p>○プロセス主建屋及び3号機タービン建屋の津波対策の実施状況について、東京電力担当者から聞き取りするとともにプロセス主建屋における実施状況を現場確認した。 プロセス主建屋においては、現在扉廻りの整備やアンカーボルトの設置など、扉を設置するための準備工を行っているとのことであった。現場確認したところ、前回確認時より新たに足場が組まれているなど、準備工が進んでいることが確認された。 3号機タービン建屋においては、津波対策箇所の全37箇所のうち23箇所が完了したとのことであった。 なお、どちらも今年9月には津波対策が完了するとのことであった。</p>	10時34分現在
1月26日	建屋内RO循環設備B系の次亜塩素酸ポンプ(B)出口配管接続部からの漏えい現場確認	4号機タービン建屋(建屋内RO設備)	<p>○1月25日に建屋内RO循環設備B系の次亜塩素酸ポンプ(B)出口配管接続部から漏えいが発生したことから、現場確認した。 現場にいた東京電力社員によると、漏えいの原因はユニオン部のねじ込み部が緩んだためとのことであり、ねじ込み部の増し締めを行い、漏えいを停止させ、漏えい水の拭き取りを行ったとのことであった。 漏えいが停止しており、堰外には漏えいの痕跡がないこと及び類似箇所の点検が行われていることを確認した。</p>	10時58分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。